■ Ｍ＆Ａ ファイナンス　（半日／４ｈ）

グローバル化が進展する中、Ｍ＆Ａのための資金調達手法はさまざまな拡がりをみせています。
本講義では、種々の選択肢のメリット・デメリットについて論じ、つなぎ融資としてのブリッジローンと、ＬＢＯ・ＭＢＯ案件の資金調達に多用されるノンリコース・ローンの仕組みについて、豊富な資料をもとに、その最先端を紹介します。

【 講師 】　小泉　泰郎　（ 株式会社Ｆｉ Ｎ Ｃ Technologies 代表取締役　CEO&CFO
元 ゴールドマン・サックス証券株式会社　資本市場本部 共同本部長 ）

【 日時 】　2024 年 6 月 20 日（木） 午後 1 時 00 分 ～ 午後 5 時 00 分 （ 4 時間 ）
【受講料】　32,000 円 （ 税込 ）

Session 1　M&A ファイナンス　＜ 90 分 ＞

1. Ｍ＆Ａのための資金調達 と 選択肢の考慮点
   - 自己資金 ／ コーポレートローン ／ ノンリコース・ローン ／ 社債 ／ 転換社債 ／ 増資
2. ブリッジローンの仕組み　～　なぜつなぎ融資が必要なのか
   - ブリッジローンの諸条件

Session 2　レバレッジド・ファイナンスの実務　＜ 150 分 ＞

1. レバレッジド・ファイナンスの仕組みと理論
2. レバレッジド・ファイナンスの性質（ 買収ファイナンス、キャッシュフローレンディング、ノンリコースファイナンス、ハイレバレッジ ）
3. レバレッジ効果とメリット （ 買収者の視点、 負債提供者の視点、 市場参加者、 売り手・買い手、 金融機関 ）
4. M&A／レバレッジド・ファイナンス市場
   - Pro Rata ポーション（ レボルバー＆タームローン A ）
   - レバレッジド・ローン
   - ハイイールド債
   - 第一順位担保権付レバレッジド・ローン
   - 第二順位担保権付（ Second Lien ）ローン
   - コベナント・ライト型ローン、他
5. 案件プロセス　～ 5 つの工程
   - Phase I　初期検討 ： ディール・ストラクチャリング ／ キャピタリゼーション ／ インディケーション提示
   - Phase II　案件分析 ： 事業分析 ／ CF モデル分析 ／ DD ／ 与信判断 ／ コミットメントレター
   - Phase III　ドキュメンテーション ： タームシート（融資基本条件）／ ローン契約 ／ 担保契約
   - Phase IV　シンジケーション ： 参加銀行招聘 ／ 参加表明期限 ／ アロケーション決定
   - Phase V　クロージング ： 先行条件充足 ／ 担保取得 ／ 融資実行
6. ストラクチャリング　～ どのようなキャピタル・ストラクチャーが可能か？
   - 調達構造 ～ シニアローン、メザニン、エクイティの関係
   - 融資条件 ～ トランチング ／ フィー ／ 担保と保証
   - キャピタル・ストラクチャー策定 ～ デット・キャパシティの決定要因とエクイティ出資額
   - 買収マルチプルの推移 ～ 足下の動向
   - 財務制限条項 ～ レバレッジ・レシオ ／ カバレッジ・レシオ ／ 最低自己資本 ／ 設備投資制限
   - その他の誓約事項 ～ Affirmative Covenants ／ Negative Covenants、etc
7. 演習：東芝セラミックスのＭＢＯ （ ストラクチャリング ／ メリットとデメリット ／ 実施における留意事項 ）
8. ＭＢＯ（マネジメント・バイアウト）
   - 想定されるストラクチャー ～ 公開買付の準備から再上場まで

- メリットとデメリット
- ストラクチャーに関する検討例　～　通常のケースと、メザニンを活用したケース
- 実施における留意事項

9. ＭＢＯケーススタディ　（ ユーエスジェイ、 ベルシステム２４、 吉本興業、 レックス・ホールディングズ、サイバードホールディングス、 すかいらーく、 ポッカコーポレーション、 ワールド、 サンスター ）